

平成26年第4回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	私の周りでは、全員住宅を建てて自力再建したため。
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	以前よく耳にしていた生活苦を耳にすることは減りました。安定してきていると感じます。
回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	住宅を建てて住む人が増えている。また、建築中の家も多数みられる。仕事も震災前と同じように回復しているように思える。
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	震災前の生活と変わりなく、回復したと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	久慈市は他市町村に比較して、被災が少なかったため、集団移転はなく、自力再建の家が目だっています。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	・自宅を再建した人が何人かいます。 ・道路（高速・住民車道）等、工事中です。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	高台移転地の整備が急ピッチで進み、公営住宅への入居を済ませた方もたくさんいる。また、自宅再建の方の家もたくさん建ってきている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	災害公営住宅が完成し、仮設住宅から出られる人が増えて来ました。自力再建する方も増えて来ています。ですが土地が限られていて、本当の回復にはあと10年も20年もかかりそうな気がします。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	一部、高台団地の造成も終り、自力再建や公営住宅が建ち、仮設住宅からの引越しが見られる。大きな高台団地の造成がもう少しで完成するようだ。来年度からの住宅再建に向けて準備を始めた方々が見うけられる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	雇用関係は回復しているが、住宅再建についてはやや回復、という状況とします。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	町のかさ上げは進んでいます、私達の生活、例えば仮設住宅住まいなど、進展がないように感じます。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	復興需要を受け、求人倍率は2.0以上を示し、生活の回復は確実に進展している。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	復興住宅等の整備が進み、落ちついた生活に入っている様子も見られる。ただし、大槌・釜石地区はまだまだという感じはある。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	住宅建築の申込みが増加している。 高台移転先の見学会や説明会が開催されている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	自宅を建てて引っ越す人がどんどん増えています。以前の生活より安心して生活できる場所に住めるのは良い事だなあ、と実感します。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	実家（仮設）に帰るといつも高台移転の話を家族とする。先日、帰った時、区画整理された計画書を見せてもらった。何坪の家がほしいかアンケートをとり、区画整理したとのこと。私の家では80坪くらいの所にすることで、どこの土地がいいか、第10希望まで出して話し合うとか…。ようやく土地が決まるのかと思った。でもまあ、土地が決まっても、工事も途中だし、まだまだ時間がかかると思うが、前より現実に近づいているように思えて、嬉しい。 実家が早く建つといいなあ…。

やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	住宅再建の話が多くなった。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	仮設住宅の同じ棟に住んでいる高齢の方に「あと何年も生きれないから早く公営住宅建ててもらいたい」という話を聞いて、お年寄りには一日でも早く安心して暮らせる様に、早く着工してもらいたいです。以前住んでいた町は、だいぶ家が再建されてきています。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	高台移転造成工事が進んでいます。新築の時期も決まってきました。災害公営住宅の工事も着工されました。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	災害公営住宅の造成・建築工事は進んでいるが、一般の居住区の整備は遅れていて、未だ家を建てる状態でない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	災害公営住宅への入居、新築移転も多く見られる様になりました。一方、造成工事が進まず、移転できずに不安を持っている人たちもいます。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	学校のまわりの土壌の整理、復興住宅のまわり（本体はまだのようである。）が行われている。法の脇、金浜、高浜のつみあげが行われている（が、どのような姿になるか、予想がつかない）。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	高台移転先の造成地に新築の家が建ち並び、家々から明かりが見える光景は、未来に向けた準備が整ったと実感する。後は雇用がカギと思いますが、復興対策での一時的な雇用では、将来的に地域経済に与えるダメージは計り知れないと想定します。せっかく建てた新築の家が、復興工事終了後の数年後には空き家に成らない為にも、県主導での企業誘致や雇用促進を今以上に図る必要を感じます。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	まだ前の生活にはなっていないような気がする。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	野田村公営住宅への入居 三陸海岸復興道路（高速道路）の工事 宇部川地区ほ場整備事業の進捗
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	復興住宅が建ちつつある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	公営住宅などに住んでいる人を見かける様になった。 他地域を歩いても建設中の住宅などが目立つように思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	公営住宅が完成し入居している人や自力再建している人が多くなっていると思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	住居の建設が進み、仮設住宅から出て、次の段階へ進んだ家庭が増えてきている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	自宅の自力再建がだいぶ進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	被災した話を聞かなくなった。住宅再建が進んでいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	私の住んでいる関谷担い手仮設団地は、平成23年の当初、80世帯で始まった。その後、自宅新築や建売住宅、中古住宅購入移転などで、自立復興者16世帯が転出した。現在は、補充入居があり、71世帯である。高台移転などの土地造成が各地で進んでおり、中心地山田地区の被災地嵩上げ土盛り工事が目立つようになって来た。被災地外の宅地取得交渉が、部分的に遅れているのは今も変わりがない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	復興は着実に進んでいると思う。県立病院・消防庁舎等の建設も始まり、2年後のオープンを目指している。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	災害公営住宅が徐々に建ち、自力再建の家も増えてきた。大型スーパーやホテルも建ち、活気が見られるが、地域によって回復の進み具合に差がある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	盛土がすすみ、少しずつすすんでいるように感じる。

やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防集による一部の公営住宅への入居や宅地の募集（売）が始まっていますが、防集用地の為の用地取得率が平均66%。また、最近行われた行政の計画変更による引渡予定日から更に遅れが…。区画整理地区で4～6ヶ月、防集移転地区で2～16ヶ月との事。土地収用法を施行する事の検討も視野に、とか。 でも、少しずつ前に進んでいる事は確かです。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	仮設住宅住まいから自力再建して住んでいる人が増えた。一団地ではあるが、防災集団移転の造成完了し、家が建っている。早い人は入居し、暮らしている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	今では被災者という気持ちはありません。毎日の生活にも少し落ちつきが出て、手芸を習いに行き皆と話をし、楽しく暮らしております。仮設の友達の多くが行き先（復興アパート）がきまり、元気でいなきゃ…と、自分の生活は自分で…と張り切ってます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	住宅再建をされる方が、徐々に増えている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	個人の高台移転工事が終了して、建築が始まってまいりました。ただ、一緒には…資材ほか関係ありそうです。ボツボツです。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	まわりのみんなの笑顔が多くなった。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	災害公営住宅はすべて完成し、集団移転地の造成も進み、来春分譲の見通しとなった。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	個々の事情により全く違っている。家を買えた人も、復興住宅に住みはじめた人もいる反面、津波被害のため盛土を待たなければ帰れない人もいるし、盛土が完成しても年配のために家を建てるのが無理な人もいる。ご飯を食べて寝るところがある…という生活で回復したと考える人もいれば、それだけでは回復したと言えない人もいる。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	仮設から出て自宅を持った人がいる一方で、まだ仮設にいる人が多い事。盛土が進んで来た。確実に進んではいるが、まだ、いつ出来るのか不明なのが不安である事。復興の仕事をしていたが、今は何もしていない人が出ている。今後の生活に不安がある人がいる事。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	高台の造成工事は進んではいるが、住宅再建については、建築単価が高騰しており、また、消費税も増税が予想され、目処がつかない。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	直近で進み具合が著しく改善したとは感じていない。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	被災から生活を立て直そうと生き生きと働いている方々もいるが、特に高齢者の方々は未だに肩を落としているように見受けられる。高齢者の方々の笑顔を取り戻すのは難しいし、時間が必要なのだと思う。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	住環境だけを見れば、回復が進んでおり、仮設住宅を出て行く人は増えているが、生活の安定という面では個人差があり、どちらとも言えない。前向きに働こうとしたり、新しい人間関係を構築しようとする人たちの生活は、回復に向かってはいるが、精神的に安定していない人、何事にも意欲が持てない人も少なからずいる。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	移転先の造成工事が春に完成するので、それに合わせて住宅建築を進めています。新しい街並みに期待と希望を持っている一方、以前と同じようなコミュニティを形成できるか心配している人もいます。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	高台移転の為の工事が進まず、自分で土地を見つけて住宅を新築する方々が増えてきましたが、まだ仮設住宅での生活をされている方は多く、早く災害公営住宅の建築と高台移転の為の工事が進むよう、特段の努力が必要と思われます。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	高台の整備が進んでいるが、生活の再建までには、まだまだ時間がかかるように思う。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	とりあえず、仕事がなく困っているという人は、あまりいないのでは…（あるいは震災前よりも）。ただ、復興が成った後も仕事があるのかは疑問。

どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	災害公営住宅が完成を迎える中、空室があると聞きます。住宅のみならず、店舗や会社がスプロール現象のごとく営業しているため、住環境の整備が周囲と歩調を合わせていかないと被災者の生活の回復は難しいと感じています。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	この3ヶ月では何も変わっていないように感じる。災害公営住宅の建設は進んできているようなので、早く仮設住宅から移れるように、と思っている。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	震災で職を失い、今もなお苦しい生活をしていらっしゃる方がいる現実を最近になって知る機会がありました。自分には、まだまだ分からないことが多いのだと感じるとともに、苦しんでいらっしゃる方がいることに胸が痛みます。少しずつでも回復はしているのでしょうか…。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	新しい復興住宅も形が見えてきて、回復しているようには感じるが、やはり仮設がなくなるまでは「どちらとも言えない」。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	皆さんの表情が前と同様に明るくなった感じです。仮設でも隣組になれた御縁と、皆さん穏やかに暮らしておりますが、やはり仮の生活です。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	被災者の方と会っても生活のことについて話さなくなったため。気にはなっているものの、その話を持ち出すのが心苦しいし、相手の方も触れてほしくない雰囲気がある。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	(1)建設業や宿泊関連の仕事に就いている方は非常に忙しい。観光関連も盛んになった。反面、地元住民向けの商店は淋しい。 (2)直近の3ヶ月くらいでは大きな変化はないと感じる。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	この3ヶ月間で、周りの人の中には新築、引越しをした人も数人はいるが、全体として生活の回復には至っていないように感じられる。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	(1)三陸縦貫道の整備は目に見える形で進んでいる。建築資材の高騰や人員不足が言われている割には地元の経済効果は目に見える形で回復しているようには思えない。被災者個々の回復は以前と変わらない。 (2)周囲を見るかぎり、被災者の移転地も整備され、一応環境的には整備されたと思う。ただし、住宅再建等については、被災者の置かれている個人的な生活環境が違いすぎるため思うように進んでいない感がする。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	高台団地のうち、小規模なところは住宅が完成し、入居が始まったが、大勢の人が住む所は、まだ、着工にも至っていない。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	地域コミュニティから離れたくなくて、防集移転に参加したものの、移転地の造成工事着手の見通しが見えてきた今、自宅再建に経済面から大きな不安を抱えている世帯が見られる。 実際に家を建築できるまで、これから2年余りある。資材の値上がり、消費税5%から8%、更に10%となっていくと不安は増すばかり。非正規で働いている人たちは、物価高や消費税アップなど、ますます生活は苦しくなっているようだ。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	(1)回復した人と未だ再建できない人との差がある。建築費の高騰等や土地取得が困難な状況により、再建が遅れている。ペットを飼って共に生活している人達は、被災前とは違って気を使い苦労しているようだ。 (2)停滞していると感じる。もっと住宅再建を希望する人への新たな支援策を期待している。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	高台の自力再建を目指しているが、宅地にはまだまだ時間がかかりそう。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	市内に公営住宅が完成した事はプラスである。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	「被災者住宅再建ガイドブック」の配布等により、補助金制度や手続き等、分かりやすく周知された。しかし、現実への道のりに、まだまだ不安をかくせない人も多数いる。 子どもたちにとっては、周囲の工事による圧迫感、思うように遊べないストレス、スクールバス通学による時間制限など、つらい環境に変わりはない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	復興住宅が完成して、仮設住宅から新しい住まいに転居する人が増えたが、まだまだ復興住宅や自力で家を立てて住みたい人がたくさんいて、なかなか仮設住宅を出られない人たちがたくさんいる。 生活は以前とは変わらず進んでいないと思う。仕事は、求人はたくさんあるが、なかなか、会社側と仕事したい人との考えのちがいが、仕事が決まらないことが多い。

どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	復興工事にともない、仮設道路等の工事が始まった。その為、仮設店舗や津波で残った家の立ち退きをせまられている人もいる。量販店は国道沿いにあるが、車がないと不便になる。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	表面的（家や仕事）には回復しているように見えても、個人個人の状況は、大きく回復しているわけではない。特に精神的な復興については、それぞれの環境や年代により違うので、足並みそろえて…とはいかないように思う。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	高台移転に向けた造成工事もちろちらで目に見えるようになってきましたが、被災者の今の気持ちは計り知れません。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	住まいを自主再建された方は、仮設を出られました。復興公営住宅の建設の進捗状況次第では、回復度が後退するかも。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	公営住宅へ入居する人もいるが、家賃を払いたくないから仮設住宅に最後まで残るとい声も多く聞こえるようになってきた。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	赤崎町はほとんど進んでいない。特に小・中学校は何より急いで欲しいと思うが、閉塞感が強くなっている。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	大部分の被災者は、まだ仮設住宅暮らしなので。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	近くの仮設住宅から、この3ヶ月、出て行かれる人がいなかった。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	8月の調査のときと同じである。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	女	公営住宅も完成し、住宅を新築した方を見れば、確かに回復したかの様に見えますが、（自分も含め）前に進めない状況の人もまだまだ多いと思う。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	事業者の多くは一種の復興バブル的な状況が続いており、総じて順調。但し、終息後の受注減や人口流出は冷静に認識し、設備投資等には慎重。一方、個人は、住宅ニーズはあるが、土地の価格上昇、資材・人件費等の高騰、事業者が多忙等々の理由で、住宅関連の進捗はストップした感がある。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	生活費・事業費共に、諸経費高騰などで高まる一方、収入がまだまだ回復していない為、所得が下がっていくのみであると聞く。基盤の復旧が半ばであるので、事業量の増大は望めないで、まだまだ回復にはほど遠いという実感である。何をかうにも隣町まで燃料を消費しながらである（しかし、大概のものはそろそろ）。幹線道路の早期復旧が待たれる所である。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	将来の不安がある。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	3ヶ月程度ではあまり変化は感じられない。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	公営住宅に移った人達もいるが、中には家を建てるまでの仮住まいとしている人達も多い。
回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	復興住宅よりも国道を通す為の土を盛るなど、優先順位が間違っている。仮設に住まわせておくのは心苦しい。
回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	<お願い> 仮設に救急車が来ました。そのときは男性一人でした。たぶん自分で119に電話したと思いますが、その方の身内に連絡したくても、知ることが出来なかった。（岩手県からの『みんなの防災手帳』が各家にあっても）他人は知ることなしです。 仮設には各家に緊急連絡先名簿を置くようにする方が良いと思いました（A4サイズくらいで）。仮設は集合住宅、隣人の身内は知りません。
回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	そのままである。

回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	ここ最近、復興住宅や公営住宅が建設されて、仮設住宅から新居へ移動される世帯も増えてきたが、それはまだごく一部のことでしかない。仮設住宅に入居してから3年が過ぎた今、地域や仮設住民とも慣れてきた様だが、仮設住宅での生活で、健康面に影響が出始めているように思える。ソフト面のケアが最近疎かにされていると感じる。住宅や商店街の街並みを造ることや、防災教育に力を注ぐことだけが復興なのだろうか？ハード面はある程度の期間があれば出来るが、ソフト面は日々の状況で変化していくし、震災から3年以上が過ぎた今は、ストレスなどもピークになってきている。心のケアにも目をもっと向けて欲しい。
わからない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	被災された方々の話を直接聞きたい。何を持って「回復」とするかは、被災者の方々の判断にゆだねるべき。
無回答	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	各家庭で落ち着いた生活でいる様に思われる。集団移転地の個々の宅地も決まり、来年度からの住宅新築に向けて動いている。

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	復興支援により回復はしたが、全国的に消費税、燃料費等が経済を圧迫していると感じられる。
回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	震災前と同様かどうかは分かりませんが、地域経済回復に向けていろいろな取組がなされています。新しい地域活性に向けての取組もなされていると感じます。
回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	建築業は仕事があり、注文に間に合わない状況が続いている。水産業も回復していて、特産のホタテのブランド化も行い、各地に出荷している。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	浸水地域での農業は回復していないが、水産業の定置網、養殖漁業、漁船漁業は、再建希望した分はほぼ、回復したように見える。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	・公営住宅、自力再建、進んでいる。 ・防潮堤整備、進んで来た。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	三陸鉄道が再開し、観光客も増え、経済面で回復の兆しを感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	水産業では、収入の減った部分もあるが、全体的に見ると、震災前と変わらない位になった。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	農林水産業は回復しているのが目に見えている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	本当に少しずつ、一步一步前進しています。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	建設関連が牽引役となり、地域経済は活況を帯びている。数年後の経済の落ち込みを懸念する。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	業種により温度差があるように感じている。6次産業化の進展が期待される場所である。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	山田町の水産業に関しては、回復の状況が見られる。ただし、商業・工業・林業に関しては問題が山積み。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	商店街もやや活気が見えて来た。水産業（加工も含めて）もまずまずの稼働だと思われる。しかし、人手不足の原因は何だろう。賃金は高いのに働く心構えができていないとも聞くが…。かつて企業城下町であったことのツケが今になって現われているのだろうか。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	人口流出により、求人に対しての応募者が少なく回復に苦労している業種や、より高い賃金を求め転職する若者が多くなっているが、地域全体では回復傾向にある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	震災前とあまり変わらない状況になっているのでは…？就職先がたくさんあって、福祉業界に人が流れてきません。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	地元企業がかなり再開した。反面、営業をやめた企業も目にしている。

やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	建設業だけはいいようだ。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	スーパー、病院など建ってから、周りには住宅が建てられて来ておりますので、夜の電気の明るさを感じると、かなり復興して来ている様に思われます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	水産業関係については、活気を取り戻して来ましたが、経済面での回復までは、もう少し時間が必要と思われます。又、仮設店舗での営業が多く、早急に商店街の整備の必要を感じます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	ほ場整備工事が進んでいます。来年から稲作ができます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	水産業はだいぶ回復が見られる。魚市場付近は活気が見られる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	宮古市については、大分進んでいると思う。釜石地区もホテル建設など進んでいる。町のほうの店舗状況については、よくわからない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	「やや進んだ」と思うけど「進んだ」とは答えられない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	建設会社は従業員（社員）確保に苦労している。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	かさ上げがずいぶん進んだと思う。近くにコンビニもでき、買い物に不便を感じなくなった。また、ホテルや民宿も建ち、宿泊施設も増えた。海の幸を震災以前のように食べれるようになった。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	回復してきていると思うが、業種によって人手不足という話を聞くので、今後の地域経済がどのようになっていくか不安なところはある。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	海での仕事の様子を活気が見られるようになった。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	磯漁業の収入も安定しつつあり、回復したと思うが、乾しいたけの単価はいぜんとして安く、やめていく生産者も少なくない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	大船渡の有効求人倍率が2.01倍で深刻な人手不足状態にある。コンビニに行ってみても、人手が足りなそうに見える。朝8時半頃に寄ってみると、当日発売の雑誌類が本棚におさまらず床に置かれた状態のときがよく見られることから、足りていないと思う。建設業、老人介護施設、水産加工などで人手不足となっている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	大手スーパーマーケットやその周辺の集合店舗の開業により、活気が出てきた。「雇用のミスマッチ」は未だ続いている。人手不足により企業の稼働率の低下が目立つ。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	山田町の浅海養殖業（ワカメ・昆布・ホタテ・カキ・ホヤ）の、復旧復興の基盤が整備された。商業にあつては大型店舗が進出するなど、雇用の促進が見られる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	盛土工事や復興道路の工事のため、人の流れが多くなり、現在は昼食時の食堂やコンビニは満室・満員の状態であるが、復興後の町はどうなるのか。そちらの方の心配もある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	生活するのに困ることなく生活している。ただ、仮設店舗の方たちは、いつ再建できるのか、気になるところである。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	養殖事業も設備が整備され、販売の方も動いてきました。漁船漁業は、漁の収穫少なく不漁。あわび、いか、たこ、その他不漁です。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	飲食店がにぎやかになった。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	鮭・鮎とも水揚げが少なく、今年の漁にはあきらめ感がある。

どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	昨年までは何となく進んでいると思ったが、今年の4月から事情が変わったのか、全く進んでいなかった。9月からやっと進んで来たが、思っていたより遅い。まだ作業所や道路、防潮堤など整備が進んでいないので良くないと思う。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	事業所に対しての支援は色々あるようだが、地域経済が回復しているとは思えない。正社員の募集は建設か介護が大部分で、また、中高年が働ける仕事はない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	建設関係が忙しい。水産業は高齢化が進み、担い手不足が深刻。新しいブランドを作り、水産業を元気にして欲しい。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	この前、釣りに行ってきたが、魚がたくさんいて、被災前と変わらない海になってきているのかなと、嬉しくなった。海で採れるものも増えてきたのかなと考える。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	あまり感じられません。目に見えて大きな変化は感じられません。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	海岸周辺には水産加工業等の建物は整備され、実際、仕事も増えている様に感じる。一見地域経済は回復している様に感じることもある。しかし、個人の生活に反映されている実感は少ない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	この後は更に、人口減少が影響してくると思う。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	仮設商店街から自力再建で店舗を開店した商店も有り、前回調査よりは進んだ感じはする。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	様々な支援のおかげで、工場・作業場は建ってきている。が、そこでの生産活動が順調かどうかはわからない。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	本設での復旧をされた方と未だ仮設営業の方とでは、状況に開きがあると感じます。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	他地域にはスーパーや大型ショッピングモールなどができて活気づいているようだが、そういう店ができない所はあまり変化を感じないような気がする。かえって、そういう地域へ出向いて消費してくるので、地域に貢献していない気さえる。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	回復というより、別な新しいものへと進んでいるとは思いますが、それを維持していくことが今後の課題だと思う。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	水産業は順調な流れで進んでいる様です。私達の町にも災害公営住宅が出来ました。月々の収入のある方でないと入居は厳しく、未だに空室があると聞いています。中心より遠くになりますと、高齢者には病院・買物等、出歩くその都度、足代が大きな負担となります。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	ホテルなど予約がとれにくい状況が続いている。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	(1)漁業については、各種補充尾制度を利用しての漁船や漁業関連施設の復旧はほぼ終了したが、燃油の高騰や人材（担い手）不足等の問題もあり、『物』は完成したが使えない状況になっている。 (2)大きな変化はなし。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	町は活気もどってきており、被災前より活気が出ている場所、職業等があるが、残りの部分を見ると、まだまだ回復には至っておらず、全体としてどちらとも言えない状況である。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	特に何も進捗があるとは思えない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	事業を再開したり、新しい分野で起業するなど、活発な動きも見られるが、それは一部に限られるように感じる。特に地場産業の回復がむずかしそうにみえる。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	市の取組を見ると、「町づくり」だけでなく「人づくり」にも力を入れているように感じ、とても評価できる。産業の復興にはかせない販路の拡大も、まだまだ壁はあるようだ。

どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	消費税が上がり、いろいろな物の値段が上がった関係で、収入は上がらないのに出費が増えて、負担が増えていると思う。 復興関係は、まだまだ回復は続いているので、こちらは経済の回復が進んでいるように思う。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	経済の回復＝生活の回復、ではない。わかりません。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	漁業関係者等の設備も復旧し、生産・加工等も活発になって来たように見受けられますが… 先日、内陸のボランティアの方々から支援物資を頂きました。秋刀魚と鮭のハンバーグ（中に肉や野菜数種類が入ったもの）。工場の住所は内陸でした。複雑な気持ちでそのハンバーグを食したのは勿論の事、付加価値とは何ぞや？と考えさせられました。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	地域経済はちょっとむずかしく、一人一人の気持ちの持ちようというか…。 どちらとも言えない…。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	震災の影響と経済事情との区別は見分けにくい、顕著な回復はみられない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	3ヶ月前と変わらず。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	建築・土木業は、回復どころか右肩上がりなのでしょうが、宮古市の基幹産業である水産業は、なかなか浮上してきません。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	スーパーや大型店が小さな町にいくつあっても、と思いますが…。雇用の問題もあると思いますし、経営は大丈夫なのかなと思ってしまいます。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	農林水産業その他の事業についても、基盤整備は進んでいるものの、高齢化のため再開しないもしくは規模を縮小する方が多い。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	津波で流され、商売ができなくなり、仮設商店街で飲食店を経営していますが、まだ42店舗が再建できずに仮設の中で頑張っています。2店だけは元の土地にもどり、グループ補助金を受けて店を再建しましたが、まだまだ損失の穴うめをすることができず、日々食べていくのがやっと…という状況のようです。 これから先はまだ未定、考え中のところです。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	商業地帯が被災したため、その土地区画整理が終わらないと商店街の町並みが見られず、さみしいかぎりだ。 産業まつりと色々なイベントには、大勢の人々が集まり、大盛況になっている。多くの人々が集まれる様な商店街を希望している。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	地域の産業に活気が感じられない。支援団体、ボランティアスタッフの元気に助けられている感がある。もっと自分の足で立ち上がらないと今後の回復は難しい。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	震災直後は、復興仮設商店街も賑わっていたが、今は客もまばらに感じる。また、地域の住民も買物は内陸へ向かう人が多い。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	8月の調査のときと同じである。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	仮設店舗で営業して居る企業や商店、飲食店は見受けられるが、本営業しているところはまだまだ少ない。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	老舗だった商店が、被災後せっかく改修・再開したのに倒産してしまい、中心部に穴が開いてしまった感じで、村民がとても残念に思っている。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	(1)三陸縦貫道路の建設が促進されたせいなのか定かではないが、近隣の山地が樹木の伐採で地肌があらわになっている。特にもことしは各地で地滑り等の災害が起きていることを考えればこのままでいいのか一抹の不安がある。 (2)政府もやっと地方再生に向けて動き始めたが、現状は他に職をもとめて若者が地元を離れる状況が続いている。福祉関係では、地元にある介護員の養成校で今年の卒業予定者の中から地元就職した生徒は0と聞いた。いかにして地元若者を留め・活性化するか真剣に考えていかなければならない。

あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	各種支援・復興需要により、活発な経済活動が続いているが、それらが終わったら、被災前より落ち込むのではないだろうか。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	目に見えてよくなっているという話は聞こえない。経費が増税後、上がっていく一方である。 基盤の復旧は一部で実施されているが、震災前の様に「合理化の追求」には程遠い状況である。補完的、復旧の追加対応に追われて、本来の作業のサイクルにもどるには何年か掛かると思います（その前に収支が合わなくなって断念しなければ良いが…）。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	住宅地・商店街等が出来ないと、これ以上の経済回復はないと思う。 先行不透明！！
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	小売店の販売は、業種にもよるが、減っているようにみられる。高田に拠点を残し、関東へ出て売上を作ろうとしている企業もある。 また、新商業地へ移るにしても、減歩率がはっきり決まっていない状況で商業地に換地するのか／しないのかを決めなければならず、不確定要素が多い為、新商業地へ移るのを断念した企業もある。
回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	今、円が安くなりました。どうなるのでしょうか。県産材を使用して住宅建設する人は数パーセントですが、県産材の使用で補助金も出ます。外材が高くなりますから、これから県産材の売込みをお願いします。日本の杉・松を海外が必要か…？ 陸前高田の杉材、お願いします。
回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	そのままである。
わからない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	大型スーパーが開店し、雇用回復とも思ったが、人手不足は変わりなく続いている様だ。福祉施設での人手不足はきびしい。
わからない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	被災前からある事業所の再建とその後、新しい商業施設と仮設店舗とのバランスなど、分からないことが多いです。

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	堤防の整備、防災訓練の実施など、確実に進んでいると思っています。自分自身も含め、地域住民の災害に対する心構えを風化させないことが大切だと思います。
達成した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	(1)避難訓練や防災に関わるワークショップ等、以前に増して安全意識を高めるイベントが多く開かれている。何度も回数を重ねたことで、住民の意識も変わってきたように思える。 (2)嵩上げや防潮堤の建設が着々と進んでいる。以前の景色と変わるのには残念であるが、工事が進み、安全性が向上したことの証とも言える。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	・地域の人口が増えてきた。 ・仕事が増えてきた。 ・アパート・仮設から人が減り、戸建が増えてきた。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	町づくりは始まったばかり、という感じです。まだまだ時間がかかります。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	土地の仮換地（案）に対し、個人土地所有者の反対が相次ぎ、土地の盛りが進んでいない。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	生活道路は完成したが、災害が起きた時の避難所までの道路整備がまだである。早急に整備して欲しいです。津波がまた来たら、孤立してしまいます。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	野田などの防潮堤等の工事はすすんでいる様子。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	低い土地に土盛りをして、かさ上げが進んでいる。高台への避難路も表示等をして分かりやすくしている。海岸沿を通らない道路も、トンネル工事が始まり、整備されてきた。一部道路も、山側に変更される工事が着々と進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤、河川堤防の工事が進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	他県から働きに来ている方の宿舎がかなり多く建ってきています。かさ上げなど進んでいる様に見えます。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	一部ですが、防潮堤工事が進んでいると思います。今、海岸の道路工事等を施工しています。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	野田村の防潮堤工事が目に見えて進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	護岸工事が進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	防潮堤の工事も少しずつ進んでいるように思う。 津波がきた場所にも住宅が建ちはじめている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	かさ上げ工事が進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	防潮堤や復興道路の工事が進められている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤などの公共工事は着実に進んでいると感じる。下水道などの排水設備の工事は不十分だと思う。歩道の整備も不十分で、歩行しにくいところもある。

やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	県南に比べ県北は進んでいるのではないかと。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	自宅のそばの防潮堤の工事はまだですが、そろそろ始まりそうで、準備中のようです。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	前より防潮堤の復旧が進んでいるので、達成されていると思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	甬嶺海岸防潮堤は形が見える状態まで進捗。浦浜海岸防潮堤と崎浜防潮堤は、ほぼ順調に進んでいるように見える。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	山付堤防や関連する河川堤防の工事が進んできており、進捗状況が私達にも見える様になってきた。ただ、安全のためとは言え、周りの景色との調和が非常に悪く、異様に見えるのは残念です。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤などの整備が大幅に進んでいる。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	目に見える形での達成は、もう少し先のように感じる。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	進んでいるのは感じる。だけどまだ、地震がきたり、大雨とかになると、不安は尽きない。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の工事が始まり、復興が目に見える様になったが、二線堤については、いつ始まるか判らない。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	防災のインフラ整備の工事が進んできた。被災前と比べて良い方向にあると思うが、具体的計画の開示を積極的にした方が良いように感じる。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	工事はしているが、なかなか進まない。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	ハード面はまだまだだが、教育面、特に小中学校の防災教育は充実してきていると思う。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	それなりに進んできていると思う。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	まだまだ、怖いと感じる場所はたくさんあります。島国ですから当然なのでしょうが…。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	防潮堤の工事、復興道路の建設は進んでいる。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	防潮堤の工事をあまり見ていない（見えないところでやっているのかもしれないが…）。なので、進んでいるのかいないのかが見えてこない。三陸道の方は進んでいるようなので、避難経路は早く確保できるのかな…とと思っている。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	防波堤工事が継続中である（赤前地区の道路計画はいまだ不明）。宮古道路の工事も進んでいるようである（あとは鉄道の復旧を待っているのであるが…）。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	以前にも増して工事車両の往来が激しくなっています。道路の整備は進んでいます…。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤等の整備や土盛り等の工事が進んでいるが、はたして巨額の費用を投下してどれだけの住人がもどってくるのか。生活は就業と切り離せないもので、その点も含め疑問視している方も多い。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	復興工事は進んでいると思うが、実際に達成したかと問われると実感が湧いて来ない。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤の工事が進んでいるのが見えるが、「達成」までは、まだまだ。

どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	防潮堤の工事の進み具合が見えるようになってきた所もあり、短期的には進んでいると感じる。ただ、まだまだ安心できると言える状態でないのも事実なので、早く進むよう祈っている。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤は進んでいるようだが、避難方策はどのようになっているのかわからないため、「どちらとも言えない」。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	店舗前に飛散防止万能塀が設置され、高く高く盛土工事が行われています。私共の店舗の移転先が決まれば、すぐ盛土が始まる状況です。私達の町には適当な土地がないため同じ事をくり返し、そのたびに無駄に思える多くの経費が消費されている様に思われます。これも安心出来る町作りへのつながりだと考えておりますが…。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	防波堤は今なおできていない。かさ上げは進んだが、避難経路の整備までには、まだまだ…という感じがする。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	ソフト面での災害に強い安全なまちづくりは、確実に進んでおり、人々の意識も高い状態が続いていると思う。しかし、ハード面に至っては、長い期間を要するものであり、まだまだ時間が必要と考えられる。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	防潮堤のかさ上げ工事や道路工事は順調に進んでいるように見えるが、一方、住民の災害に対する意識変化は時間と共に顕著に現われてきている。先日防災避難訓練を実施した際には参加した住民は半数以下だったと聞いている。行政として住民の安全確保のためいろいろな対策を講じているが、時間とともに防災・減災に対する意識が減少してきた感じがする。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	地域の防潮堤工事が始まってきたこと。山側を通る中間道の整備計画に伴う測量も進み、具体的になってきた。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤・防波堤の工事はすすんでいるようだ。ただ、係船する場所にこまっている。かさ上げも、そっちもやったりあっちもやったり、業者が別なのか、一方から進めてほしい。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	商業地域の土盛り工事や、被災地域宅地再建のための、嵩上げ工事が進んできた。被災した柳澤地区の都市計画地域は、住宅建設が進み、大型店舗も進出した。にも関わらず、国道45号線の復旧はされたものの、防潮堤の建設が進んでいない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	避難訓練や地域の集まりなど、積極的に参加する市民は決して多いとは言えない。各々の家庭内では、災害に対する心得など、良く話し合っている様子だが、それが地域となるとつながらず、意識が低い。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	テトラポットをみかけることが多くなってきたが、防潮堤建設には、まだまだの様子。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	「住民の安全の確保」という意味では、心のケアも大切。以前から苦しんでいる人に加え、4年目で症状があらわれる人も増えてきた。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	防波堤が進まない！
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	岸壁のかさ上げ工事は少しずつ進んでいるが、それに関連する道路等の工事には、手がついていない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	高台の造成などは進んでいるが、防潮堤・沿岸道路はまだまだ、時間を要すると思われる。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	盛り土の地域も少しずつ広がってきています。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	ようやく防潮堤の整備が始まった。これからだと思う。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤が未整備で津波が来たら危ない。港周辺は何センチかかさ上げた程度です。
あまり 達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	海岸に向かう道路が舗装されておらず、通行に不便な所があるため。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	防潮堤や嵩上げの工事が進んではいるが、まだまだ安心出来る様な状態ではない。

あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	道路標識が少なく、昼は何とか車で走れるが、夜間走行は怖いものがある。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	大規模な工事が多く、3ヶ月程度では大きな進捗は見られないが、大型トラックや資材運搬車両がより多くなって来ている。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	防潮堤の整備より先にやって欲しいことがあると思うが…。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤や避難道路、避難ビルなどは、全くその姿が見えない。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の工事は進んでいます、実感として、まだ防潮堤本体が見えて来ません。又、河川の防潮堤工事は未着工であり、安心して住める環境ではなく、安心・安全なまちづくりを進めて欲しいです。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	計画は進んでいるが、工事が進んでいない。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	女	防波堤工事が着工したばかりで、進んでいるとも達成しているとも思えない。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤工事など、一時期ずいぶん進んでいるようだったが、ここに来て、あまり変わっていない。残った古い防潮堤を取り去ったまま、海が前よりよく見えるようになった。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	防波堤の工事が始まった。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤はいつ完成するのでしょうか？
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤工事も徐々に進んで居ると思うが、変更変更で時間がかかり過ぎる感じがする。住宅の高台移転についても、場所も決定していないので、早期に着手・着工出来る様お願いしたい。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤工事はいつになったら完成するのでしょうか。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	防潮堤は一生懸命、作業中です。船引場、トイレその他は手をつけてません。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	盛り土が多くなってきたが、まだ市全体の何%にもなっていない感じ。防潮堤も建設中、避難路もまだできない状況で回復しているとは言えない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	ようやく盛土が始まったところです。 私共の住んでいた町は、ほとんどの家を流された所です。かさ上げが、1m～3m70cm、必要ですが、ようやく手がつき始めた、という所です。 小学校・中学校が先に完成する予定ですが、完成予定はH29年4月、その他復興住宅などは、その後になるのではないのでしょうか。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	まだまだ復興はしていない。 いまだに仮設住まい、そこから脱出しないと進歩がない様に思う。
達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤がないので、津波が来たら旧市街地の奥まで浸水すると思うのと、今のままでは国道45号線が危ないと思うので、ハードの遅れはソフトで補わなければならないと思う。津波警報のときのまわり道を考えるべきだと思います。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	私は川と海の近くで、被害も大きいです。防潮堤も水門も大切であります。あと何年ですか？ 公営住宅は早くて4年後、高台も4年後との事。もっと大変なのが、嵩上げが4年後でその後の土地区画整理に1年半～2年との事。ベルトコンベアーは動いていますが… 嵩上げ、地元が一番最後に成るなら、問題もあるがグループ造成の方が早くなると思っています。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	そのままである。

達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	残念ですが、着実に見えてはいますが進んでいるとは感じません。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	工事途中なので。 むしろ工事の初期段階であり、まだまだ実感できない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	8月の調査のときの回答と同じである。 但し、防潮堤の第2線堤は3.11大地震の影響で70cm位地盤が沈下したと言われ、その分の嵩上げ復旧工事は終了したように見受けられるが、新たに陸間の拡幅計画が持ち上って来た。 また、第1線堤については、1ヶ所で強度を高める工事が行われているが、倒壊した長さ600m・高さ10mの防潮堤の復旧は計画段階であると聞いている。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤の工事は、あちこちで見かけるようになった。 しかし、進んでいると言うにはほど遠い状態。その構造についても、直立型は経年劣化時の対処（予算面も含む）が心配。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	災害に強い安全なまちづくりと言っているが、この震災を生かしたまちづくりがされているとは思えない。 町の地形などのせいもあるが、新たなまちづくりをするなら、今回の東日本大震災を生かした安全で、かつ震災を忘れない街で、心和まる街を造るべきだと思う。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	一部では大分、防潮堤の基礎部分らしい物が見えて来ているが、そもそも防潮堤は、全区域がつながって、初めて防災機能が生まれると思う。ゆえに、完成するまでは、安全性の一部が確保されたと言えないのではないかと思います。 相変わらず、高台の造成工事で排水機能が古いままなので、あふれる事がしょっちゅうです（全回調査時と同じ）。
わからない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	道路のかさ上げ工事が少しずつ進んでいるようですが、必要性についてもっと詳しく知りたい。
無回答	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	海が全く見えなくなる堤防を造るより先に避難経路をしっかりと確保した方が良いと思う。 山田町内は工事ばかりで、道も迂回路ばかりですし、大型ダンプが行きかいかい、危険です。朝は渋滞しています。

【自由記載集：掲載にあたって】

- ①回答者ご本人のご了解をいただいたもののみを掲載しています。
- ②自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。)

平成26年第4回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

平成26年12月25日
岩手県 復興局 復興推進課

〒020-8570
岩手県盛岡市内丸10-1
電話 019-629-6945